

■「よくあてはまる」「ややあてはまる」を合わせた数値が90%に満たなかった設問について、考察をしました。

『【6】お子さんは、家庭学習を決まった時間行っている』は、90%に満たなかったものの、66.7%(H30.9月)→70%(H31.1月)→75%(R元.90月)と昨年から確実な伸びが見られます。各ご家庭で「まなぶくん」や「学力向上だより」に目を通していただき、家庭と学校が連携した取り組みが前進しているものと考えます。家庭学習の習慣化は、学力向上には必要不可欠です。家庭学習を習慣化することで、がんばりぬく力や授業の集中力が高まったり、いろいろな学習分野への興味関心が深まったりします。決めた時間になったら学習に向かうように、家族が協力して、学習に向かう雰囲気を作っていたいただければと思います。(児童アンケート結果 86%)

『【7】お子さんの家庭でのテレビやゲームの時間は、60分以内である』は、56%(児童アンケート結果 76%)です。学力向上につながる家庭学習時間の確保、習慣化のためには、テレビ、ゲーム、SNSの時間など生活時間の改善が急務です。ご家庭でもお子さんと、約束事を決めて取り組んでください。また、本校ではまだありませんが、武雄市を含めた県内でもオンラインゲームやSNSによるトラブルや心配な事案が発生しており憂慮しているところです。なお、「東っこ生活のきまり」として、携帯電話やパソコン、ゲーム機を使いインターネット通信などを勝手にしてはいけないことになっていますので確認もよろしくをお願いします。

『【8】お子さんは、自分から先にあいさつをしている』は、73%(児童アンケート結果 92%)でした。児童と保護者様の意識に差が見られます。これは、朝の登校時に教職員に対してよく挨拶ができていく児童の意識、それ以外の時や場所ではもう少しとみる大人の意識の差だと考えます。上手にできる子が増えてきましたが、「自分より先に」「誰にでも」という点に重点を置き指導していきます。校内に掲示した「あいさつの木」や給食時間の校内放送であいさつの上手な子を紹介する取り組みを予定しています。あいさつは人とつながる第一歩です。「おはようございます」「こんにちは」と声をかけられると、誰しも温かい気持ちになります。あいさつが上手にできることで、人生がより豊かなものになりますし、人とのより良い関係づくりにおいて必要不可欠です。家族の中でもあいさつを見直してみたり、大人が手本を見せたりしながら、共に挨拶のできる子供たちを育てていきましょう。

『【10】ご家庭では、学校の教育目標を知っている』は、86%(児童アンケート結果 96%)でした。学校と家庭が共に手を取って、子供たちを育てるうえで教育目標の認知度はとても重要になってきます。東川登小の学校教育目標は、各学年の学級通信や学校だよりにも毎回載せております。

生き抜く力の育成

①やさしく …思いやりと感謝の心で、誰とでも仲良くできる子ども

②かしこく …学び方を身につけ、自ら学ぶ子ども

③たくましく…粘り強くやり通す子ども

学校、保護者、地域一体となって、変化の激しいこれからの時代を「生き抜く力」を身につけた「やさしい かしこい たくましい」子どもに育てていきたいと考えております。今後ともご協力、よろしくお願いいたします。

※裏面もご覧ください

## ■自由記述から

学校に対する温かい評価やお子さんの着実な成長の様子をたくさん書いていただきました。ここでは、質問や要望があったものに対する回答を載せています。同じ内容のものは、代表してお一人の記述を載せています。

**○運動会の期日を変更して欲しいです。毎年暑さが増しているので子供達の体力、体調を考慮して、地区の役員さん方と話をしていただきたいです。地区の他の行事等と入れ替えてもよいのではないかと思います。**

→ここ数年、夏の気温が大きく上昇し、現在の時期の運動会開催は、練習の期間まで含めて熱中症のリスクが高くなってきています。育友会と協議し、今年度中に地域の役員さんに相談したいと考えています。

**○家庭でもいい事と悪い事を教えているのですが、たまに間違っただけをすることもありますが、今は、先生達も大変でしょうが、悪いときは厳しくご指導お願いします。いいことをした時は、大げさなくらいほめてやってください。**

→教育には厳しさも必要です。愛情に根差した厳しさが子供を伸ばします。子供の望ましくない言動を見たときには、毅然とした態度で指導していきます。もちろん、なぜ叱られているのか子供たちが納得のいくように指導します。また、よい行いを見つけたときには、しっかりとほめて、自分に自信をもった子供たち、自分を大好きな子供たちを育てていきます。

**○「●●カード」は、毎日親から一言記載しなければいけないため、忙しいときにはなかなか手が回らない時があります。子供だけでは宿題を終わらせることができないので、少し見直していただけないかと思います。**

→お忙しい中、日々ご協力ありがとうございます。家庭学習の習慣化のためには、ご家庭でも、宿題を済ませたかどうか確認していただいたり、声掛けをしていただいたりすることが大切になります。特に低学年のうちは、重要です。お忙しい時には、音読や暗算等も家事をしながら聞いていただいても結構ですし、サインだけの記入で結構です。どうぞご理解とご協力をお願いします。

**○学級の授業だけでは、十分に理解できてないことが少しずつ増えてきています。家庭で教えようとするのですが、親世代が子供の頃に習ったやり方と違っており、うまく子供に教えきれない現状です。教科書だけでなく、時々、ノートも持ち帰らせていただけるとそれを見ながら教えられるので、検討してもらえないでしょうか？**

→一緒に考えていただきありがとうございます。基本、教科書とノートは持ち帰らせるように全校で統一します。

**○夏休み冬休みの宿題にある感想文は、学校で書かせることはできないでしょうか。**

→多くの時間をとることはできませんが、学校で感想文の書き方をきちんと指導します。また、書き方のコツを記載したプリントを配布するなどします。どうぞご理解とご協力をお願いします。